

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人リバーバンク
役職	副代表
氏名	鈴木秀典
着任日	令和5年10月1日

活動月	令和6年11月(着任1年2ヶ月)
主な活動	・CONNE、空き家バンク事業 ・祭り運営、出店(磨崖仏、ごっそい、知覧茶マルシェ) ・視察(木育、新電力、空家活用、DENKEN WEEK) ・リビセンパネルセッション参加

・CONNE、空き家バンク事業

南九州市の移住定住促進の事業が今年度から始まっている。
阿久根で遊休ビルの活用、枕崎では旧郵便局の活用をしながら事業をされている下園さんをお呼びして、南九州市の事業者や移住に興味を持つ方向けに講演を行った。
これから南九州市が場を作っていくには地域の事業者の方々の協力が不可欠なので、今後より選択肢が増える南九州市になっていくことを支えて行けたらと考える。



・祭り運営、出店(磨崖仏、ごっそい、知覧茶マルシェ)

11月は全ての週末に祭りやイベントがあり、初めて実行委員側としてイベントに参加した。
手作り感もあり、伝統もしっかりと受け継ぐ祭りやイベントはとても賑わいがあり、
今後も自分のできることで関わり続けたいと思う。



地域おこし協力隊活動報告書

・視察(木育、新電力、空家活用、DENKEN WEEK)

今月は外に出て色々な活動に対して視察を行った。

「木育」

鹿児島県で木育を進めている担当の方との出会いから「かごしま木材まつり」が鹿児島イオンで行われていることを知り、視察を行った。鹿児島県産の木材をもっと子供が触れ合えるようにとの想いのもと、間伐材活用等をすすめつつ、山から海までの環境について伝えていた。

きっかけは遊ぶことかもしれないが、県全体で進めている話や、南九州市周辺にはまだ広がっていないことを知り、今後イベントを含めて共に進めていきたいと思う。



「新電力」

日置での新電力の活用方法を知るため、「ひおき地域エネルギー株式会社」を訪問した。

コンパクトグリッドで行う電力の活用方法や、小型水力発電の仕組み、地域にどう還元していることなどをヒアリングでき、とてもいい機会となった。

今までは太陽光発電が嫌煙される感覚を持っていたが、正しい知識で進めていくことで地域が変わっていきける気がしている。



「空家活用」

4年をかけて全てご自身のDIYで宿をつくられている現場を視察させていただいた。

とても豪華で手が混んでおり、こういう宿があることで、様々なターゲットの観光客を呼ぶことができるようになるため、とてもいい取り組みだと感じた。

地域おこし協力隊活動報告書



「DENKENWEEK」

今年で8年目となるDENKENWEEK。日南の飫肥の城下町がアートの展示に変わる取り組み。知覧で5月に行う茶とまるのイベントとの親和性が高いこともあり、去年から視察に行っていたが、今年は茶とまるの関係者と共に伺うことで、コラボできる段階まで話がすすんだ。



・リビセンパネルセッション参加

リビルディングセンターが周年のイベントとして行った「リビセンギャザリングデー」
昨年お呼びしてからやりとりを続け、パネルセッションの展示をまとめて、南九州市での活動を発表してきました。

